

第2回 静岡市 LRT 導入研究会

1. 開催日時 平成 23 年 10 月 28 日（金）14:30～16:00
2. 開催場所 静岡市役所 静岡庁舎 本館 3 階 第三委員会室
3. 出席者 埼玉大学大学院 教授 久保田 尚
静岡商工会議所 会頭 後藤 康雄
静岡鉄道株式会社 専務取締役 三浦 孝文
静岡市 副市長 清水喜代志

静岡商工会議所 専務理事 五十嵐 仁

4. 会議内容

- (1) 開会
- (2) 研究会
 - ・ 想定ルート具体化とその課題等について
 - ・ 意見交換
- (3) 閉会

5. 議事要旨

○各ルートの検討

- ・ 需要予測値は、沿線地域の主に徒歩による移動から推計したもので、バスなど他の交通機関からの転換等を見込んでいないため、控えめな人数とみることができる。
- ・ 清水 A,B ルートはそれぞれ個別ではなく、同時に整備した方が現実的ではないか。
- ・ 清水 B ルートで JR 清水駅東口に向かう場合、ルートにいくつかのバリエーションがある。新清水駅から清水橋側道を通り、JR に沿って行くことも考えられる。また、車窓から港湾地域の展望が望める海寄りのルートが検討されてもよい。
- ・ 静岡 A ルートは、既存鉄道との直通がなければ全く異なる経路となる可能性はないのか。
→本ルートは、静岡の中心市街地活性化の目的も含んでいる。新静岡駅はバスなどの交通ターミナルの機能もあるので、直通の有無にかかわらずルートに組み込むことが必要と考える。
- ・ LRT と既存鉄道とを直通する場合は、現行輸送力の確保などの技術的な課題の他整備費用負担といった課題もクリアする必要がある。

○その他

- ・ ヨーロッパでは都市内交通に自転車を活用する事例が見られるが、
→拠点で乗り捨て自在のレンタサイクルが普及している事例はあるが、交通手段として自転車を利用する割合は、むしろ日本のほうが多い。欧米での自転車は主にレジャー用の位置付けとなっている。